

23周年記念列車報告

去る4月29日(日)に実施いたしました「大阪電気通信大学 鉄道研究会 23周年 記念列車」は、盛況のうちに無事終了いたしました。参加・援助をいただいたみなさんありがとうございました。

さて、当日大阪駅コンコース噴水前には、72名の参加者が揃いました。中には遠く関東からの参加や創設時のなつかしい顔ぶれも見られます。長机の臨時の受付を作り、参加者の確認と記念品などの配付を行ないます。

10:05頃、鉄研ジャンパーに制帽をかぶった麻田氏の改札により入場、11番線にあがります。10番線には我々の列車を撮影せんとする何人かがカメラを向けています。10:18、宮原から回送されてきた「ふれあいSUN-IN」には、谷口氏の力作ヘッドマークが燦然とかがやいており、思わず拍手がおこります。特急の発車するホームに3輦の列車なので停車位置がわからず、京都寄りへ進んで待っていたところ、かなり手前に停車し、一同大慌てでドアへ走りこみます。10:20、弁当類の積込も終り発車です。

各号車とも席割りも適当に行なわれ、一段落したところで最初のイベントです。車内放送が全車通しになっていなかったの、とりあえず口頭で集合をかけ、2号車に集まりました。松井OB会長、山口先生、三瀬現役会長の挨拶が終わり、記念品贈呈、近藤氏の講話と続きます。列車は京都駅を過ぎ、時間も11時を回る頃、一旦イベント終了となり、各号車へもどりフリータイムとなります。この間、スタッフの方は車内放送を全車通しにしてもらうように車掌と交渉、昼食タイムにかかる頃ようやく全車一斉放送ができるようになりました。ところでこの放送に使う例のチャイムですが、はじめはどこについているのかわからなかったの、チャイムなしでやっていたのですが、三瀬氏が電話型マイクについているネジ式オルゴールであることを発見。さっそく使わせて頂きました。

草津線に入る頃、弁当・飲物を配付し、昼食タイムとなりました。もっとも、乗車直後から酒宴タイムになっている所もありましたが・・・草津線内走行中にはクイズ問題が配られ、柘植駅までの解答タイムに頭をひねります。問題は・・・

- Q1. 関西線で最初のトンネルにはいる時刻は?
- Q2. 大河原～笠置間の踏切はいくつあるか?
- Q3. 挨拶をした松井・山口・三瀬の3氏の年齢の和はいくらか?

さて、解答の提出が終った頃、最初の下車可能駅柘植に到着です。各自記念撮影をしたり、形式写真をとったりしているうちに、30分ほどの停車時間は過ぎてしまいました。進行方向が変わり、架線のない関西線へ入りましたが、次の停車駅伊賀上野まではトンネルはないので、クイズの答えもおあずけです。

伊賀上野は北側の3番線に到着。ここで1時間50分近く停車します。とりあえず全員記念撮影のため改札を出て、駅本屋の前に並んで中越氏のペンタ6×7による撮影を行ないました。

さて、そのあとは自由時間ですが、まだ1時間半は残っています。上野市内の城へ行く人や近鉄の伊賀線の撮影地をさがす人、車内ではNゲージの運転会もはじまり、それぞれ時間をつぶすのに工夫？をしていました。

伊賀上野発車後、車窓クイズの解答のトンネルおよび踏切の監視態勢に入ります。最初のトンネルは島ヶ原～月ヶ瀬口間にあり、大河原～笠置間の踏切は2ヵ所でした。さすがに山間部ですね。そして3番目の下車駅笠置到着です。ここでは号車別の記念撮影を行ないました。ホームでさわいでいるうち、30分ほどの停車時間はすぐに経過、終着の湊町をめざします。なお、北川氏・小野氏・沼崎氏は笠置で下車し、次の一般営業列車で帰途につかれました。

木津での40分ほどの停車を利用して、2号車に集まりクイズの正解者発表景品贈呈が行なわれました。敗者復活ゲームも行なわれ、結局景品を手にしたのは、堀氏・堀氏の奥様・麻田氏の友人の渡辺氏、山内氏の奥様の4名でした。

関西線電車区間に入った列車はスピードが上るかと思いましたが、それほど快走するというほどでもなく、平野駅では後続の快速に抜かれました。しかし、天王寺駅には停車せず、そのまま終着駅湊町駅へ進入。7時間44分の記念列車の旅が終了しました。

なお、記念列車関係の会計を次に報告しておきます。

収入	参加費・寄付金	644,000円
支出	JR・記念品他	761,940円
OB会費より支出		117,940円

その後の運営委員会にて記念列車に関する反省が行なわれ、以下のような点が指摘されました。

- ◎ 座席車でなく御座敷列車になったのは結果として成功であった。
- ◎ これまでの鉄研の性格からしてイベントのたぐいがうまくいくか不安であったが、以外にも成功であったといえる。
- ◎ 交渉や準備等たいへんであったが、けっこうそれなりの力が発揮できた。
- ◎ 集客についても広範囲の参加があり成功であった。
- × 最初のイベントに時間をかけすぎ、参加者の紹介ができなかった。
- × 冷蔵庫設備が使えなかったもので、飲物がぬるくなってしまった。

全体として、初めてにしては成功であると判断して、今後も機会をみて実施していきたいということでもとまりました。23周年という中途半端な年になったのはしかたないとして、それならいつそ中途半端な年をめざして開催してはどうかという案も出ていました。(例として素数の年度とか・・・)